

## 実践事例 6

<b>集団活動を苦手とする生徒に対する学習機会の保障</b>			
キーワード	保健、集団活動が苦手、学習機会の保障、f a c e t i m e、遠隔授業		
学年 領域・教科	中学部2年 保健体育	単 元 名	健康な体
<b>使用したアプリ等の概要</b>			
アプリ名等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ f a c e t i m e</li> </ul>		
このアプリで できること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 端末間でテレビ電話のように（ビデオチャット）、相手を見ながら会話ができる。</li> <li>・ そのため、企業等でもテレビ会議システムとして導入している事例がある。</li> </ul>		
<b>授業の概要</b>			
授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 風邪などの予防法について理解する。</li> </ul>		
I C T 活用の 概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 場面緘黙で、かつ、集団での活動を苦手としている生徒が対象である。</li> <li>・ 対象生徒が風邪などの感染症の予防法について理解できるように、他の生徒が別室で学習している様子を f a c e t i m e で中継し、理解できるようにする。</li> </ul>		
<b>児童生徒の変容と授業の評価</b>			
① i P a d を使用しなかった際に考えられる児童生徒の様子 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集団での活動を苦手としているため。教室に入ることができない。</li> <li>・ 仮に教室に入ったとしても、下を向いているか、机に伏せている。</li> </ul>			
② i P a d 使用時の児童生徒の様子の変化と授業の評価 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ タブレットを注視していて、手洗いの仕方やうがいの仕方など、風邪の予防法について学ぶことができた。</li> <li>・ 翌日、手洗いの仕方を確認したところ、授業で説明した手順通りに、手洗いをしており授業内容を理解していることが確認された。</li> <li>・ f a c e t i m e の利用により、他の生徒と同等の学習の機会を保障でき、風邪の予防法を学習することができた。</li> </ul>			